

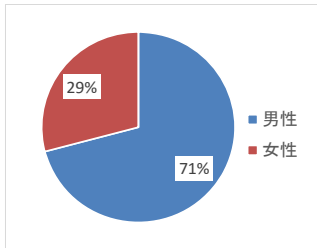
# 事後評価アンケート結果

整理番号 H29 - 3

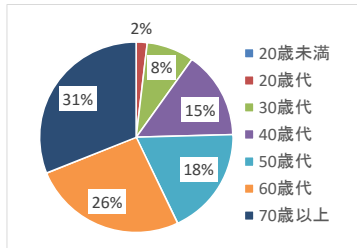
事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市
-----	--------------	------	----------

アンケート対象	青森港新中央ふ頭から5km内の構成世帯(TCM)		
配布方法	郵送配布	(配布部数)	1,250 部
回収方法	郵送回収	(回収部数)	440 部
回収率	35.2%		
アンケート結果			

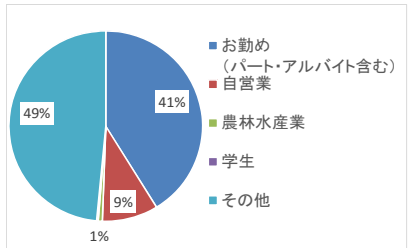
問1【性別】 有効回答数440



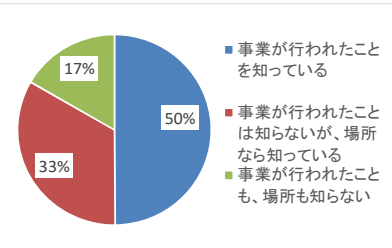
問2【年齢層】 有効回答数440



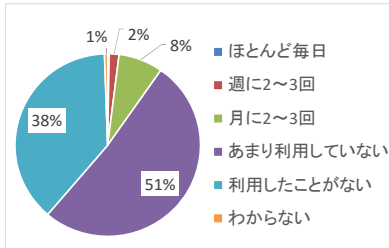
問3【職業】 有効回答数437



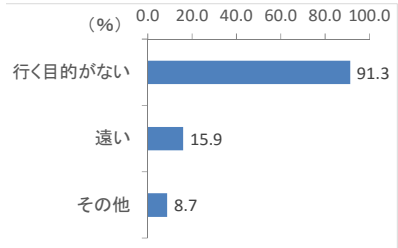
問4【認知度】 有効回答数439



問5【利用回数】 有効回答数361

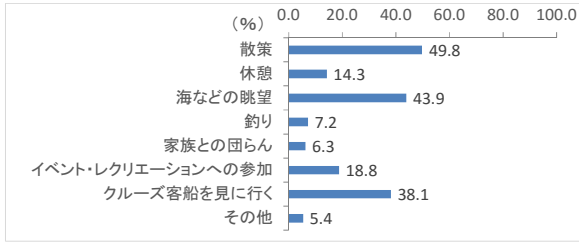


問5-1 「利用したことがない」理由



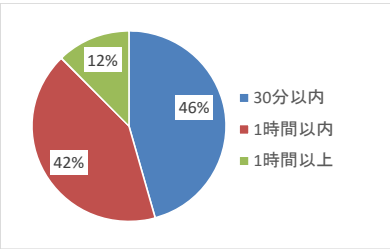
「その他」理由  
・目的がない時は立入禁止と思っていた。

問6【利用目的】 有効回答数410

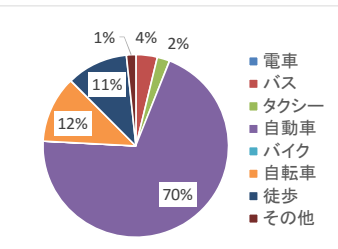


「その他」利用目的  
・ジョギング。

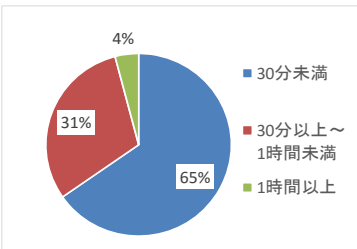
問7【滞在時間】 有効回答数219



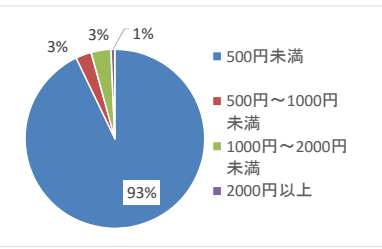
問8【移動方法】 有効回答数186



問9【移動時間】 有効回答数196



問10【移動費用】 有効回答数141



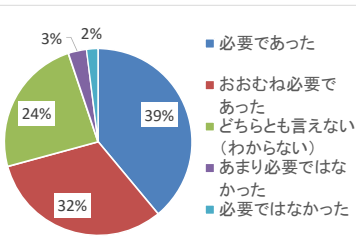
# 事後評価アンケート結果

整理番号 H29 - 3

事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市
-----	--------------	------	----------

## アンケート結果

問11【必要度】 有効回答数349



地域にとってこの事業は必要であったと思いますか。

### ◎主な理由

#### ◆必要(おおむね必要)であった理由

- ・観光客の誘致。
- ・地域経済の活性化に寄与。
- ・災害時に活用できるから。

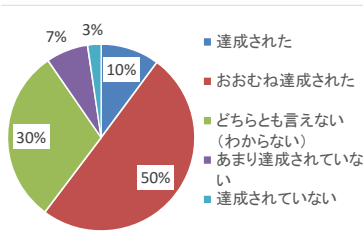
#### ◆必要(あまり必要)ではなかった理由

- ・知らない人の方が多いと思う。
- ・事業の費用対効果が疑問。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・大型客船が接岸出来ないの。

問12【達成度】 有効回答数345



この事業の完成した結果を見て、事業目的が達成されたと思いますか。

### ◎主な意見

#### ◆達成(おおむね必要)された理由

- ・大型クルーズ船の寄港が増加。
- ・観光客が増え、街が活性化した。
- ・散策空間の確保。

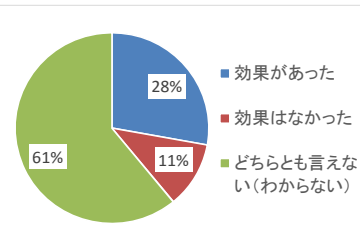
#### ◆達成(あまり達成)されなかった理由

- ・市民へのPR不足。
- ・大型客船が入港できない。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・完成したばかり、これからだと思う。

問13【その他効果】 有効回答数338



この事業について、問12に記載した以外の効果があったと思いますか。

### ◎主な内容

#### ◆効果があった内容

- ・大型船の寄港により、観光客が増えた。
- ・青森のPR。

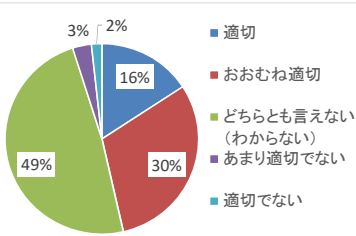
#### ◆効果はなかった内容

- ・宣伝も、整備ももつと必要。

#### ◆どちらとも言えない内容

- ・効果が見られるのは、これからだと思う。
- ・知らない人が多いと思う。

問14【管理状況】 有効回答数349



管理は適切に行われていると思いますか。

### ◎主な理由

#### ◆適切(おおむね適切)である理由

- ・目立ったトラブルは聞かない。
- ・きれいに保たれている。

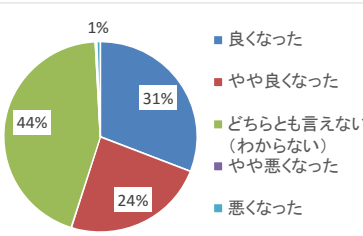
#### ◆適切(あまり適切)でない理由

- ・釣りをしている人が多くいた。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・管理についてよく知らないから。

問15【環境変化】 有効回答数346



新中央ふ頭周辺の環境は、事業実施前と比べてどう変化しましたか

### ◎主な理由

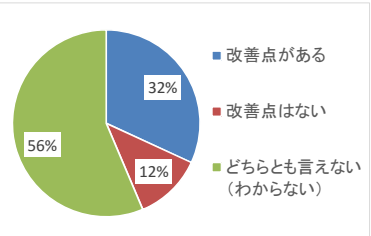
#### ◆良く(やや良く)なった理由

- ・景観がよくなった。
- ・きれいになった。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・行ったことがないので、よくわからない。

問16【改善点】 有効回答数323



新中央ふ頭について、改善した方がよいと思う点がありますか。

### ◎主な内容

#### ◆改善点がある内容

- ・駐車場の整備。
- ・大型客船が着岸出来る様にする事。
- ・イベントを積極的に行うべき。
- ・休憩場所等を増やして欲しい。
- ・交通アクセス、もっと便利に。
- ・周辺に何も無い。

#### ◆どちらとも言えない内容

- ・今の時点では良くわからない。

## 事後評価アンケート結果

		整理番号	H29 - 3
事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市

### アンケート結果

#### 問17【その他意見(アンケート対象事業)】

新中央ふ頭の整備事業に対して、その他のご意見・ご要望等ございましたら、お聞かせください。

- ・旅客船が寄港できるようになり街にも市民にも良い影響をあたえてと思う。
- ・どんな大型客船も着ける様にしてほしい。
- ・海と密着した都市の魅力向上を望む。
- ・家族向け(子ども達の憩いの場)として遊具など設置しても良いのでは。
- ・青森港の花火観覧の席を設置してほしい。
- ・公衆トイレとか釣り施設等があれば良いと思う。
- ・もっと一般の人が行くような理由(イベント等)を増やして欲しい。
- ・もっと音楽フェスを開催してほしい。予算の関係ももちろんあるが、若者を楽しめることがないと誰も青森に残らない。
- ・今はまだ良くわからないが、八戸の朝市みたいな事をしてほしい。
- ・今の時点で、結局、フェリーで来る人以外の利用としては難しい。常に何か目的になるようなものがないと。
- ・PR不足、県民の認知度不足。
- ・散策や休憩をしに来ても駐車場がない。

#### 問18【その他意見(公共事業全般)】

アンケート対象事業に限らず、公共事業についてご意見・ご要望等ございましたら、お聞かせください。

- ・新聞、テレビ、広報紙を使ったPR。
- ・青森市内の道路の整備を計画的に実施してほしい。
- ・老人・子供にやさしい公共事業をしてほしい。
- ・目先の利を追求するのではなく、将来良いレガシーとなるよう、身の丈に合った事業をしてほしい。
- ・あまり自然に影響が出ない工事をこれからもしてほしい。
- ・青森市南部商業地域のバスを増やしてほしい。土・日の混雑が特にひどいので、時間帯を見てバスの増発を希望する。
- ・ドーム型の野球場を作ってほしい、プロ野球はこないしコンサートも会場がなくて青森県を避けて他県で開催されている。
- ・フェリーふ頭、中館ふ頭、中央ふ頭、八甲田丸・連絡した整備を望む。
- ・新青森駅周辺の開発をしてほしい。

## 事後評価アンケート結果

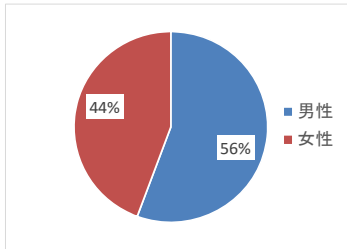
整理番号 H29 - 3

事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市
-----	--------------	------	----------

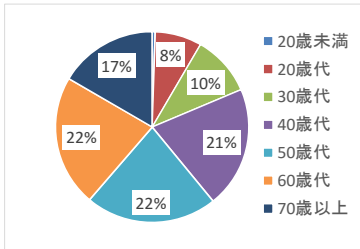
アンケート対象	青森港新中央ふ頭から500m内の構成世帯及び就労者 (CVM)		
配布方法	郵送配布	(配布部数)	2,935 部
回収方法	郵送回収	(回収部数)	788 部
回収率	26.8%		

**アンケート結果**

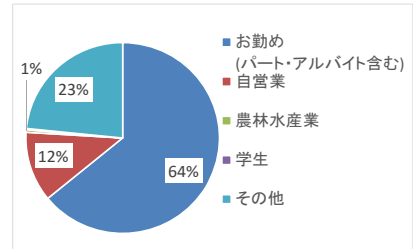
問1【性別】 有効回答数778



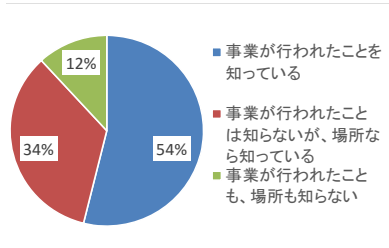
問2【年齢層】 有効回答数781



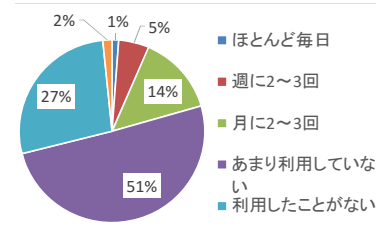
問3【職業】 有効回答数774



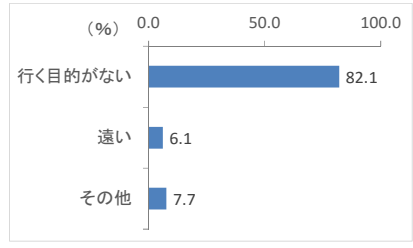
問4【認知度】 有効回答数778



問5【利用回数】 有効回答数681

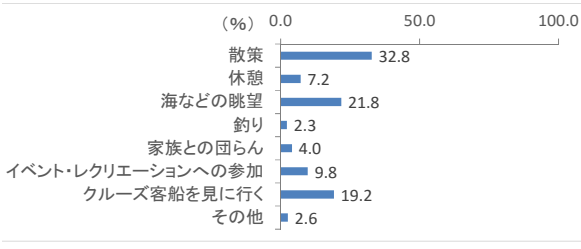


問5-1 「利用したことがない」理由



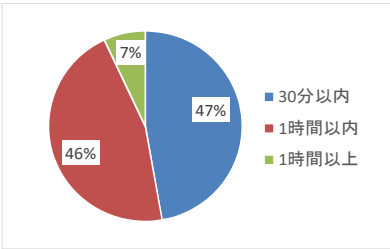
「その他」理由  
・利用できることを知らなかった。

問6【利用目的】 有効回答数919



「その他」利用目的  
・ジョギング。

問7【滞在時間】 有効回答数489



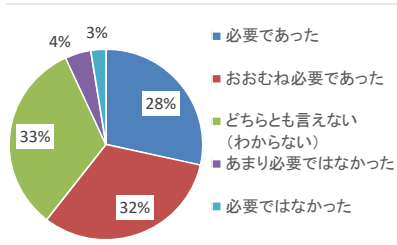
# 事後評価アンケート結果

整理番号 H29 - 3

事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市
-----	--------------	------	----------

## アンケート結果

問12【必要度】 有効回答数671



地域にとってこの事業は必要であったと思いますか。

### ◎主な理由

#### ◆必要(おおむね必要)であった理由

- ・クルーズ船の寄港。
- ・地域経済の活性化に寄与。
- ・災害時に活用できるから。

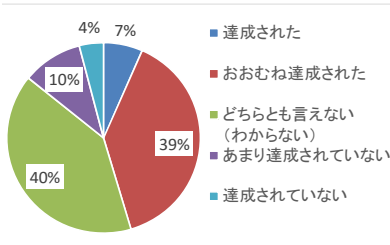
#### ◆必要(あまり必要)ではなかった理由

- ・事業の費用対効果が疑問。
- ・目的がよくわからない。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・行くことがないので。

問13【達成度】 有効回答数643



この事業の完成した結果を見て、事業目的が達成されたと思いますか。

### ◎主な意見

#### ◆達成(おおむね必要)された理由

- ・大型クルーズ船の寄港が増加。
- ・観光客が増え、街が活性化した。
- ・憩いの空間ができた。

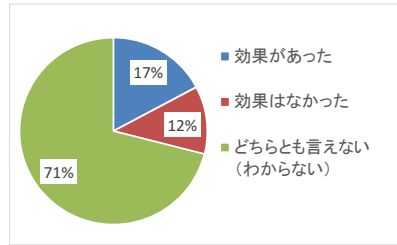
#### ◆達成(あまり達成)されなかった理由

- ・市民へのPR不足。
- ・大型客船が入港できない。
- ・イベントの開催が少ない。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・イベントがあまりない。

問14【その他効果】 有効回答数639



この事業について、問12に記載した以外の効果があったと思いますか。

### ◎主な内容

#### ◆効果があった内容

- ・大型船の寄港により、町が活性化した。
- ・青森の知名度アップ。

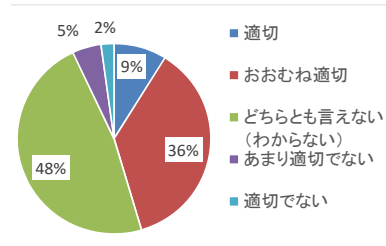
#### ◆効果はなかった内容

- ・何も変化がないように感じる。

#### ◆どちらとも言えない内容

- ・情報がないので、わからない。
- ・長い目で見ないとわからない。

問15【管理状況】 有効回答数645



管理は適切に行われていると思いますか。

### ◎主な理由

#### ◆適切(おおむね適切)である理由

- ・目立った問題はないようなので。
- ・きれいに保たれている。

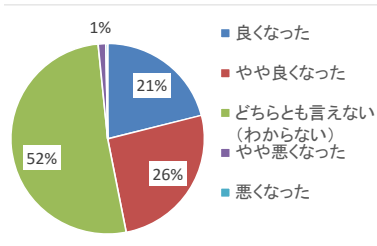
#### ◆適切(あまり適切)でない理由

- ・釣り人の管理がされていない。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・管理状況の判断基準がわからない。

問16【環境変化】 有効回答数637



新中央ふ頭周辺の環境は、事業実施前と比べてどう変化しましたか

### ◎主な理由

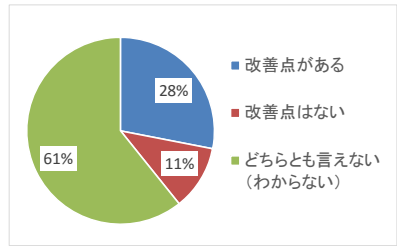
#### ◆良く(やや良く)なった理由

- ・景観がよくなった。
- ・きれいになった。

#### ◆どちらとも言えない理由

- ・利用することがないので、よくわからない。
- ・変わらない。

問17【改善点】 有効回答数616



新中央ふ頭について、改善した方がよいと思う点がありますか。

### ◎主な内容

#### ◆改善点がある内容

- ・駐車場の整備。
- ・大型客船が着岸出来る様にする事。
- ・市民にもっとPRすべき。
- ・イベントを積極的に行うべき。
- ・緑を増やして欲しい。
- ・釣りができるようにしてほしい。

#### ◆どちらとも言えない内容

- ・今の時点では良くわからない。
- ・利用しないのでわからない。

## 事後評価アンケート結果

		整理番号	H29 - 3
事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市

### アンケート結果

#### 問17【その他意見(アンケート対象事業)】

新中央ふ頭の整備事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- ・もっと宣伝をして、活用してほしい。
- ・もっとイベントを開催してほしい。
- ・いかなる大型船でも寄港できるようにする。
- ・客船が入港した時、近くで見られるようにしてほしい。
- ・集客力のある施設が近隣に(入口付近)あれば利用があるのでは。
- ・街の商店を整備し、施設を充実させることが第一だと思う。

#### 問18【その他意見(公共事業全般)】

アンケート対象事業に限らず、公共事業についてご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- ・都会の真似をしないで、青森らしさを生かすようにしてほしい。
- ・青森市は特に人口が少なくなっていると思うので、活性化できるような事業にとり組んでほしい。
- ・将来の展望をもった公共事業。維持・管理費を市民に強いることのない公共事業を望む。
- ・公共事業をはじめる前に、住民説明会をひらき、完成したら見学会をひらくなど地元住民に認知してもらう必要があると思う。
- ・もっと観光事業を活性化してほしい。
- ・公共事業については費用対効果の視点も重要だと思う。
- ・公共工事の具体的な効果をもっと世間にアピールしてほしい。

(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

整理番号 H29 - 3

事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市
-----	--------------	------	----------

【事業実施前の状況】



【現在の状況】



(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

整理番号 H29 - 3

事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市
-----	--------------	------	----------

詳細な状況



【防波堤(北)】L=310m



【ふ頭用地】A=3.3ha



【緑地(起債)】A=1.2ha



【道路】L=700m



【緑地(補助)】A=1.6ha



【耐震強化岸壁】L=280m



## 費用対効果分析説明資料

整理番号 H29 - 3

事業名	青森港新中央ふ頭整備事業	箇所名等	本港地区 青森市
-----	--------------	------	----------

## 【費用対効果の算定内容】

## 1.費用対効果の算定根拠

算定の考え方は、「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編)」(平成21年6月)による。  
 具体的な便益の算出については、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル」(平成29年3月)、「港湾投資の評価に関する解説書2011(以下、解説書2011)」(平成23年7月)、「港湾投資の評価に関する解説書2011に掲載の原単位の更新について」(平成29年4月)による。

## 2.事業全体の投資効率性

## (1)港湾整備に要する費用

【耐震強化岸壁(-10m)L=280m、防波堤(北)L=310m、ふ頭用地A=33,000㎡、緑地A=28,000㎡、道路L=700m】

●C:総費用	=	48,525	百万円
C1:耐震強化岸壁(-10m)	=	17,623	百万円
C2:防波堤(北)	=	16,613	百万円
C3:ふ頭用地	=	3,570	百万円
C4:緑地	=	9,533	百万円
C5:道路	=	320	百万円
C6:維持管理費	=	866	百万円

●総費用の算出根拠 C = C1 + C2 + C3 + C4 + C5 + C6

消費税を除き建設デフレータを考慮し現在価値化を行った。また、維持管理費については、供用後50年間分を現在価値化した。なお、現在価値化を行う際の社会的割引率は4%とした。

(単位:百万円)

区分	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C
費用	8,255	6,644	1,874	4,576	247	1,606	23,202
現在価値化	17,623	16,613	3,570	9,533	320	866	48,525

## (2)港湾整備による便益

## a)総便益の整理(現在価値化のための社会的割引率は4%)

●B:総便益	=	55,541	百万円
B1:震災時緊急支援物資輸送便益	=	16	百万円
B2:震災時一般貨物輸送便益	=	821	百万円
B3:施設被害回避便益	=	951	百万円
B4:クルーズ船寄港便益	=	2,483	百万円
B5:交流・レク機会増加便益(緑地)	=	51,184	百万円
B6:修景・就労環境機能向上便益(緑地)	=	86	百万円

## b)便益算定根拠

B1:震災時緊急支援物資輸送便益 = 16百万円

- ・後背圏人口は新中央ふ頭から10km圏とする。
- ・代替港は八戸港とする。
- ・被災後1ヶ月に必要とされる緊急物資の輸送費削減効果を整理。

B2:震災時一般貨物輸送便益 = 821百万円

- ・フェリー貨物を対象に便益を算出。
- ・代替港は八戸港とする。

B3:施設被害回避便益 = 951百万円

- ・耐震岸壁の整備により、震災時において破損を免れることができ、復旧のために追加的な支出を回避できる。
- ・レベル2地震動の再現期間は500年とする。(解説書2011より)
- ・耐震岸壁の供用開始年次は平成15年とする。
- ・復旧期間は2年とする。

B4:クルーズ船寄港便益 = 2,483百万円

- ・外航クルーズ船の入港による国際観光収入の増加便益及び外航クルーズ船の入港に伴う営業収益の向上便益を算出する。
- ・基準年(平成29年)より以前の外国人上陸数及び寄港回数については、実績値を使用する。
- ・基準年(平成29年)以降は平成25年～平成28年の平均値を使用する。

B5:交流・レク機会増加便益(緑地) = 51,184百万円

- ・新中央ふ頭から5km圏域を背後圏として住民アンケートを実施し、現状についての旅行費用を変数とした訪問頻度関数(回帰分析)を想定し、緑地を訪問することにより発生する消費者余剰を算出する。

B6:修景・就労環境機能向上便益(緑地) = 86百万円

- ・新中央ふ頭から500m圏内の住民および就労者を対象にアンケート調査を行い、緑地整備による修景・就労環境の機能向上に対する支払い意思額(CVM)を算出した。

## 【費用対効果分析の結果】

・費用便益比 B/C(事後評価時点) = 総便益(B)55,541百万円 / 総費用(C)48,525百万円 = 1.14



# 公共事業再評価調査

整理番号 H22 - 16

担当部課名	県土整備部 港湾空港課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 6 7 7
		E-MAIL	kowan@pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件	未着工 長期継続 ( 年 ) 再評価後 ( 5 年 ) その他 ( )
---------	-------------------------------------

## 1 事業概要

事業種別	港湾事業		事業主体	県 市町村 その他 ( 国土交通省 )			
事業名	青森港新中央ふ頭整備事業		地区名等	青森港本港地区	市町村名	青森市	
事業方法	国庫補助	県単独	財源・負担区分	国 26 %	県 69 %	市町村 5 % その他 %	
採択年度	平成 4 年度 ( 用地着手 平成 年度 / 工事着手 平成 4 年度 )						
終了予定年度	平成 23 年度 ( 平成 年 月 工期変更 再評価時 平成 26 年度 )						
事業目的	港湾を通じ国内外の様々な人的・経済的交流を推進し、港湾利用の高度化を図ることを目的とする。旅客船バースについては、耐震強化岸壁として整備されたものであり、県地域防災計画の中で、陸上交通が途絶えた場合の、災害時における海上輸送拠点として位置付けられている。						
主な内容	区 分		再評価時	再々評価時	増 減		
	耐震強化岸壁 (-10)		280 m	280 m	0 m		
防波堤 (北)		310 m	310 m	0 m			
ふ頭用地		33,000 m <sup>2</sup>	33,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>			
緑地 (補助)		16,000 m <sup>2</sup>	16,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>			
緑地 (起債)		12,000 m <sup>2</sup>	12,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>			
道路 (新中央)		700 m	700 m	0 m			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容については、再評価時 (平成17年度) と比較して変更はない。</li> <li>・事業精査により事業費が減となった。</li> </ul>							
事業費	○再評価時総事業費 22,189 百万円 (単位：百万円)						
		～19年度	20年度	21年度	22年度	小 計	23年度～ 合 計
	計 画 (うち用地費) < 年 月変更 >	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	20,495 ( 0 )	1,079 ( ) 21,574 ( 0 )
実 績 (うち用地費)	20,894 ( )	0 ( )	65 ( )	150 ( )	21,109 ( 0 )	465 ( ) 21,574 ( 0 )	

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			97.8 % [ / ] ( % ) [ / ]	103 % [ / ] ( % ) [ / ]
主要工種 毎割合 (事業費)	岸壁 (-10m)	( 8,255百万円 )	100.0 %	105.3 %
	防波堤 (北)	( 6,644百万円 )	100.0 %	105.3 %
	ふ頭用地	( 1,874百万円 )	91.7 %	96.5 %
	緑地 (補助)	( 1,431百万円 )	90.5 %	95.3 %
	緑地 (起債)	( 3,160百万円 )	98.4 %	103.6 %
	道路 (新中央)	( 210百万円 )	41.2 %	43.4 %
説 明	本プロジェクトで整備すべき施設のうち、岸壁 (-10m)、防波堤 (北) については完了しており、平成15年度及び平成16年度に供用開始している。また、緑地 (補助) についても、計画16,000m <sup>2</sup> のうち6,500m <sup>2</sup> について暫定供用している。残り9,500m <sup>2</sup> 、ふ頭用地、道路、緑地 (起債) については平成23年度に整備を完了し、平成24年度から供用を開始する予定である。			
問題点・解決見込み	特になし			
事業効果発現状況	平成11年には緑地 (補助) A=16,000m <sup>2</sup> のうちA=6,500m <sup>2</sup> が、また、平成15年8月には耐震強化岸壁である旅客船バースが暫定供用を開始している。また、平成16年4月には親水防波堤が供用を開始し、市民の憩いの場となっている。			

## (2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 本州北の玄関口である青森港は、本州と北海道の物流を支えるフェリー基幹航路の発着港であり、地域産業を支える国際物流拠点であるとともに、厳しい自然条件下におかれながらも安らぎと潤いを与える港として多くの人々に親しまれている。	【県内の評価】 青森市は、人口30万人を擁する県内の主要都市であり、産業、経済、文化の中心として発展してきた。港や駅のほか、空港も整備されており、今後は新幹線開通により広域交通アクセスの更なる拡充が図られることにより、これからも物資流通及び産業経済の拠点としての役割は一層高まるものと期待されている。	
	当地区における評価	当該地は、青森県防災計画の中で、耐震強化岸壁とふ頭用地のセットで背後圏(半径10km)人口28万人の防災拠点として位置付けられており、震災時には、緊急物資輸送拠点として、また、現在、緑地、親水防波堤である北防波堤などが市民の憩いの場として利用されており、ふ頭用地等の造成の進捗により交流拠点用地として、役割が更に期待されている。		
必要性	青森港は、青森県が管理者となっている重要港湾であり、また、青森港港湾計画に位置付けられ、妥当性、適合性を市及びその他、広い範囲で了承されていることから県が整備すべきである。			(a). b
適時性	当該ふ頭は、青森県の防災計画に、直轄施工の岸壁及び県施工のふ頭用地を合わせて、防災拠点として位置付けられており、震災時には、背後圏(半径10km)人口28万人への救援物資海上輸送拠点として機能するものであり、県民の安全・安心を確保するため、更に防災対策を進める必要がある。 更に、本州の北の玄関口としても、港湾を通じた国内外の様々な人的・経済的交流活動の拠点を形成する必要がある。			(a). b
地元の推進体制等	青森港の外航船及び内航船の利用促進を図り地域振興に寄与することを目的に設置された、県、青森市、商工会議所など関係12団体で構成する青森港国際化推進協議会を中心に国内外のクルーズ船の当該ふ頭への寄航についてポートセールス活動が行われている。また、関係団体からも整備促進についての要望が多い。 なお、現在まで、港湾関係者等との調整が順調に推移しており、地元住民による反対運動等が無い。			(a). b
効率性	耐震化岸壁、ふ頭用地とともに、緑地が整備されることにより、大規模地震時における緊急物資等の海上輸送拠点となることに加えて、緑地が被災者の避難地としての活用が図られることにより、地域住民の被害、不安を軽減することができる。			

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増減
費用項目 (C)	(1)建設費	26,879 百万円	34,829 百万円	7,950 百万円
	(2)維持管理費	360 百万円	452 百万円	92 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	27,239 百万円	35,281 百万円	8,042 百万円
便益項目 (B)	(1)震災時緊急支援物資輸送便益	13 百万円	8 百万円	5 百万円
	(2)震災時一般貨物輸送便益	583 百万円	777 百万円	194 百万円
	(3)施設被害回避便益	510 百万円	732 百万円	222 百万円
	(4)景観形成モデル整備便益	2,815 百万円	0 百万円	2,815 百万円
	(5)交流・レク機会増加便益(緑地)	40,400 百万円	58,351 百万円	17,951 百万円
	(6)修景機能・就労環境等機能向上便益(緑地)	1,038 百万円	45 百万円	993 百万円
	総便益	45,359 百万円	59,913 百万円	14,554 百万円
	B/C	1.67	1.70	
費用対効果分析 (B/C)	【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等) ・港湾投資の評価に関する解説書2004(平成16年10月 港湾事業評価手法に関する研究委員会編) ・仮想的市場評価法(CVM)適用の指針(平成21年7月 国土交通省)			(a). b
再評価時との比較	【再評価時との比較における要因変化】 前回再評価の平成17年度と比較し、一般貨物輸送、施設被害回避、交流・レク機会増加便益が上昇している。また、生活・就労環境等機能便益は、対象エリアを近隣のみとしたため低下している。			(a). b

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <p>ふ頭用地造成の埋立材料として仙台防衛施設局による大湊芦崎湾浚渫工事による浚渫土砂を利用することにより、工事費の縮減を図っている。</p> <p>また、緑地の整備計画を見直し費用の軽減を図っている。</p>	(a) b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <p>護岸の構造・断面採用に当たっては、ケーソン式、自立鋼管矢板式、二重鋼管矢板式、セルラブロック積式などの構造形式を経済比較し、最も経済的なセルラブロック構造を採用した。</p>	(a) b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <p>背後地及び周辺住民へのアンケート調査による。</p>	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <p>緑地や防波堤の施設整備により、新中央ふ頭への訪問回数が増加すると回答を得ている。</p>	(a) b															
環境影響への配慮	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)区分</p> <table border="0"> <tr> <td>農林地等の緑地や植生の改変</td> <td>地形や地盤の改変</td> <td>水系や水辺の変更</td> </tr> <tr> <td>海域環境の変更</td> <td>敷地整備段階での重機の使用</td> <td>土砂等の搬出・搬入</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理等</td> <td>道路(車歩道)、雨水排水路の設置</td> <td>基礎や地下建造物の建設</td> </tr> <tr> <td>低層建築物の建設</td> <td>高層建築物・大規模施設等の建設</td> <td>高架構造物の建設</td> </tr> <tr> <td>海底・海中建造物の設置や建設</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(3)対応内容</p> <p>当該ふ頭内に緑地整備を行い、施設周辺の緑化等に配慮している。また、工事においては、埋立工事による水質汚濁の防止のため、汚濁防止膜を設置するとともに、水質監視を行い、土砂の流出防止、水質への影響防止に努めている。</p>		農林地等の緑地や植生の改変	地形や地盤の改変	水系や水辺の変更	海域環境の変更	敷地整備段階での重機の使用	土砂等の搬出・搬入	廃棄物処理等	道路(車歩道)、雨水排水路の設置	基礎や地下建造物の建設	低層建築物の建設	高層建築物・大規模施設等の建設	高架構造物の建設	海底・海中建造物の設置や建設			(a) b
農林地等の緑地や植生の改変	地形や地盤の改変	水系や水辺の変更																
海域環境の変更	敷地整備段階での重機の使用	土砂等の搬出・搬入																
廃棄物処理等	道路(車歩道)、雨水排水路の設置	基礎や地下建造物の建設																
低層建築物の建設	高層建築物・大規模施設等の建設	高架構造物の建設																
海底・海中建造物の設置や建設																		
地域の立地特性	青森市は、豪雪地帯対策特別措置法に基づく特別豪雪地帯に指定されている。																	

## 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	災害に強いまちづくりの実現のためにも必要な事業であり、また、県民の新たな憩いの場及び国内外の様々な人的・経済的交流活動拠点の創出に寄与する部分が多いこと、さらに、事業が97.8%まで進捗し、平成23年度の完成を予定していることから、事業を継続し着実に完成を迎えたい。			
備考				

## 4 公共事業再評価等審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				